

## 2 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 1 月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	マニュアルの活用や見直し等生きた手引書となるよう折に触れ、職員皆で読み合わせることが大切と思われる。また外部研修時の資料等を基に研修参加職員が講師となり勉強会をするなど、職員教育効果も踏まえ、改めて身体拘束の排除等について考える機会を持つことを望みたい。	定期的に身体拘束排除・虐待排除について施設理念と方針を読み合わせし、マニュアルや外部研修資料を活用した研修会により職員全員の意識を高める。	平成25年12月29日、平成26年1月12日(勤務状況により2日設け職員全員参加とする)に身体拘束排除・虐待排除についての施設内研修会を実施。施設理念と方針、マニュアル、グループホーム協会からの事案等を活用し身体拘束排除・虐待排除についての意識を高めるとともに日々のケアの見直しを話し合うことができた。目標として今後もできる限り定期的に続けていきたい。	H25, 12月～
2					
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。